取扱説明書



64-Channel AD/DA | Dante® | HDX | Thunderbolt 3™ Audio Interface with onboard DSP

GALAXY 64

SYNERGY CORE

Version 1.3 - 07.12.2022

目次

製品を使用する前に 4

システム要件 5

安全にお使いいただくために 6

アクティベーション 7

Windows の設定 10

macOS Mojave 10.14（以降）の設定 12

THUNDERBOLT 3 の主な機能 12

デイジーチェイン 12

電源供給 13

下位互換性 13

リモートコントロール 14

フロントパネル解説 15

リアパネル解説 15

タッチスクリーンの機能 24

CONTROL PANEL アプリケーション 26

クイックスタート 27

Mouse & Keyboard ショートカット 29

メインビュー 29

S/PDIF & AES タブ 33

MONITORS/HEADPHONES タブ 33

SESSION タブ 34

INFO タブ 35

ROUTING タブ 35

Routing Matrix 用語解説 37

MIXER タブ 39
HDX タブ 40
AFX タブ 41
TRIMS タブ 43
METERS タブ 44
GETTING STARTED WITH DANTE® 45
カスタマーサポート情報 49
TECHNICAL SPECIFICATIONS 58

64 CHANNELS OF ANALOG AUDIO.

DANTE, HDX & THUNDERBOLT CONNECTIVITY.

ONE DEVICE.

Galaxy 64 Synergy Core は、高品質なサウンドと搭載されたオンボードエフェクト、そして 2U のラックスペースでありながらスタジオ全体のシグナルフローを集約することができるという、最も要求の厳しいプロジェクトにも応えうるハイエンドなレコーディングシステムです。Dante、HDX、Thunderbolt 接続を備えた世界初の 64 チャンネル AD/DA コンバーターであり、その豊富な接続フォーマットから、制作施設、ライブ現場、放送、その他のエンタープライズ・アプリケーションでサウンドを統合・管理する際に圧倒的な柔軟性を提供します。このインターフェイスは、拡張モジュールや拡張カードを必要とせずにセットアップ全体を一元化し、レコーディング環境全体のハブとなるように設計されています。



製品を使用する前に

この度は Antelope Audio Galaxy 64 Synergy Core をご購入いただき誠にありがとうございます。製品を使用する前に、下記内容をぜひご一読ください。

重要！

PC/Mac 用 Control Panel アプリケーションは、Galaxy 64 Synergy Core とお好みの DAW とをつなぐ究極の「媒介役」です。本機の機能を最大限に活用するために、レベル調整、信号ルーティング、エフェクト処理、ミキシング、メータリングなどの作業を直感的なシングルウィンドウ環境で行うことができます。そしてそのオーディオ信号は DAW に送られ、マルチトラック、ステム、2 チャンネルステレオなど、お好みのフォーマットでレコーディングされます。

本機のポテンシャルを最大限に引き出すために、Galaxy 他Synergy Core を使い始める前に 'Control Panel Application' の章で知識を深めておいていただくことをお勧めいたします。同様に 'Getting started with Dante®' の章では、オーディオネットワークを素早く始めるための基礎知識を紹介していますのでぜひご一読ください。

本機には USB Type-C ケーブルは同梱されていますが、Thunderbolt ケーブルや DigiLink Mini ケーブルは付属しませんのでご注意ください。アクティベーションや初期設定を行う際の最初のコンピュータとの接続には、こちらの付属 USB ケーブルをご利用ください。この USB 接続は設定やコントロールパネル操作のもので、本機においては USB 経由でのオーディオ信号のストリーミングは行えません。

システム要件

Mac:

- Thunderbolt ポートを搭載した 2012 年以降の Mac
- Intel / Apple Silicon 両方対応
- macOS 10.14 Mojave 以上
- ストレージ容量： 4GB 以上
- RAM：4GB 以上（８GB 以上推奨）

Windows:

- 認証済み Thunderbolt 搭載の PC
- Windows 10 (64-bit) 20H1(v. 2004)以上 （最新 Micorosoft Update 推奨）
- ストレージ容量（最低 4GB）
- メモリ（RAM）：最小 4GB（８GB 以上推奨）
- CPU: Intel Core i3 （６世代 Skylake）または AMD Ryzen 1000 シリーズ以上

追加情報:

- Antelope Audio ソフトウェアのダウンロードとアップデートには、安定したインターネット接続が必要です。

安全にお使いいただくために

感電、火災、その他の危険を避けるため、次のことを守ってください。

- ネジ、カバー、キャビネットを取り外さないでください。内部にはお客様が修理可能な部品はございません。
- 修理は必ず専門のサービス担当者にご依頼ください。
- 本機を雨や湿気の多い場所に置いたり、液体をこぼしたりしないでください。
- 液体や異物が入った場合は、使用しないでください。本機の電源を切り、電源プラグを抜いてください。異物を取り除くか、液体が完全に乾いてその残留物が完全に取り除かれるまでは、デバイスを再度操作しないでください。
- 濡れた手で電源ケーブルを扱わないでください。
- 電源プラグを抜き差しするときは、本機の電源がオフになっていることを確認してください。
- キャビネットの上に物を置いたり、狭くて風通しの悪い場所で本機を使用したりしないでください。
- 異常が発生した場合は、まず機器の電源を切り、次に電源プラグを抜いてください。本機を自分で修理しようとせず、必ず正規のサービス担当者または販売店に相談してください。
- 暖房器具やストーブなど、熱を発する機器(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- 本機の清掃には刺激の強い化学薬品を使用しないでください。お手入れには電子機器専用のクリーナーをご使用ください。
- 本機の電源を入れる前に、すべての機器を接続してください。
- 本機は電源ケーブルを介してアースに接続されています。
- アースを取らずに本機を運転することは絶対に避けてください。
- 電源ケーブルは、踏んだり、物を置いたりすることで圧迫されないよう配線してください。
- 本機の電源を完全に切るには、まず電源ケーブルをコンセントから抜き、次に本機のリアパネルからケーブルを抜いてください。
- 突発的あるいは継続的な高い音圧レベルにさらされると、ヘッドホンやモニターを介して耳に永久的な損傷を与える可能性があります。

- 持ち運び中やフライトケースに入れるときは、必ず本機のラックから外してください。
- 本機は、0~50°C(32~122°F)の温度環境で適正に動作するように設計されています。

アクティベーション

弊社のオーディオインターフェイスをお使いになる前に、必須のオンラインアクティベーション（製品登録）が必要となります。このプロセスを実行することで、製品保証の有効にする上、特別なソフトウェアパッケージや限定製品オファーへアクセスができるようになります。

製品のアクティベーションを成功させるには、インターネット接続が必要です。

① 付属の電源を Galaxy 64 Synergy Core のリアパネルにある電源コネクターに接続します。電源プラグを AC/DC メインコンセントに接続する。

注：スイッチング電源はどの国の主電源にも自動的に対応します。不慮の事故を防ぐため、必ず付属の電源を使用してください。

② Thunderbolt 3 ケーブル（別売）を使って、Galaxy 64 Synergy Core をコンピュータに接続します。

注 1：Mac の場合、 Thunderbolt 1 と 2 の接続は、サードパーティ製のアダプターと対応するケーブルを使用して可能になります。

注 2：Windows の場合、Thunderbolt 4 はサポート対象外となります。また、Windows では ASIO のみに対応しております。WDM には対応しておりませんのでご了承ください。

③ Pro Tools Ultimate では Galaxy 64 Synergy Core と HDX システムを DigiLink Mini ケーブル（別売）で接続します。

④　Dante® audio-over-IP 機能を使用する場合は、Galaxy 64 Synergy Core とコンピューターまたはネットワークスイッチを標準の Cat5 または Cat6 イーサネットケーブル（別売）で接続します。

注意:　Thunderbolt 接続は Galaxy 64 Synergy Core を Antelope Launcher および Control Panel アプリケーションで常に認識させるために必要です。

Galaxy 64 Synergy Core の Dante® 機能を完全に活用するには、ギガビットイーサネットが必要です。Dante® 接続の詳細については official documentation を参照してください。

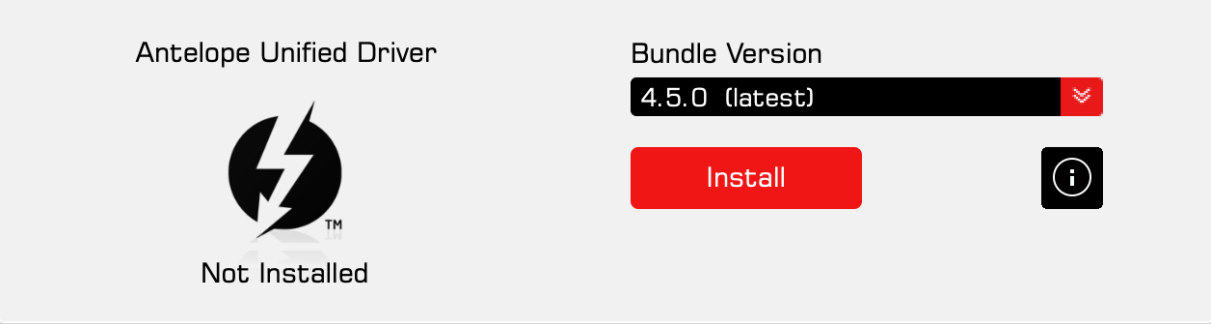
⑤　http://www.antelopeaudio.com にアクセスして、アカウントにログインするか、新たにアカウントを作成します。

⑥　弊社サポートページからご使用のオペレーテイングシステム（Windows 10 / macOS 10.14 以降）に対応する最新の Antelope Audio Launcher アプリをダウンロードし、インストールしてください。

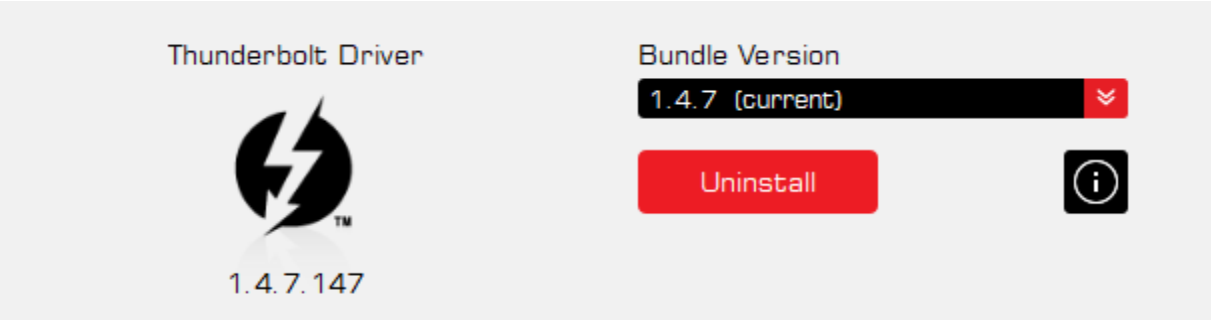
Apple Silicon 搭載の Mac をお使いの場合 - この記事をご覧ください。

⑦　Antelope Launcher のアプリの「System」タブより、ドライバーをインストールします。ドロップダウンメニューから、最新版を選択します。その下にある「Install」ボタンをクリックし、バンドルをインストールします。

macOS の場合：



Windows の場合：



注２：Antelope Audio の Windows Thunderbolt ドライバは、DAW アプリケーションでの ASIO 操作のみをサポートしており、WDM (Windows Audio) モードはまだ搭載していません。

注３：Thunderbolt 経由で Windows オーディオを有効にするには、サードパーティ製のソフトウェアが必要です。Antelope Audio では Voicemeeter Banana を推奨しており、こちらよりダウンロードできます。

https://vb-audio.com/Voicemeeter/

注４：本ドライバは、Windows の Thunderbolt 4 ポートには現在対応しておりません。

⑧　Launcher アプリの「Devices」タブで、Activate Device をクリックし、手順に従ってください。

⑨　アクティベーションが完了すると、デバイスが再起動します。その後、Galaxy 64 Synergy Core を「Devices」タブで公開されている最新の Bundle バージョンにアップデートしてください。

Galaxy 64 Synergy Core を Windows または macOS コンピュータで使用できるように設定するには、以下の「セットアップ」の章に進んでください。

注：アクティベーションを終えた Galaxy 64 Synergy Core は、Antelope Audio ユーザーエリアの「My Hardware」ページにシリアル番号とアクティベーション日とともに表示されます。

セットアップ

オンラインアクティベーションが完了したら、Galaxy 64 Synergy Core を最新のソフトウェアおよびファームウェアバージョンに更新してください。これを行うには、Antelope Launcher を開き、歯車のボタン から、最新のバンドルバージョンをインストールしてください。
アップデートが完了したら、お使いの OS に応じた手順で進めてください。

問題が生じた場合？まずはこちらから（Antelope Audio Customer Support page）カスタマーサポートページにアクセスし、該当のデバイスを選択して必要な情報をご確認ください。

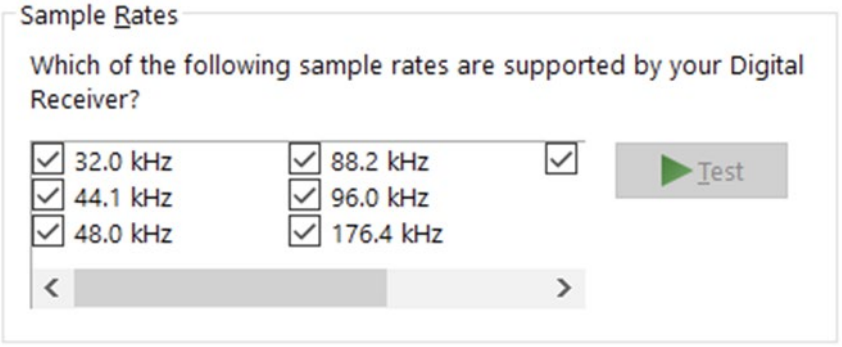
Windows の設定

Windows10 では Galaxy 64 Synergy Core を稼働させるためにいくつかの調整が必要です。

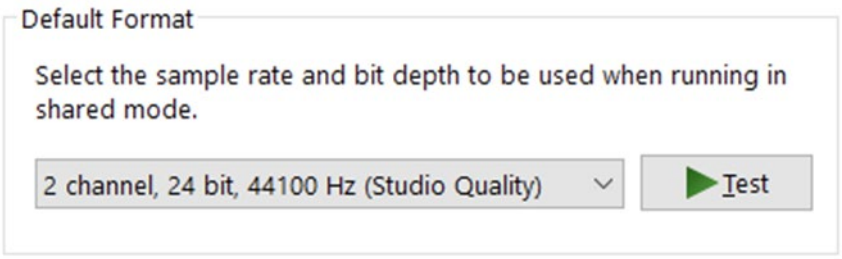
1. コントロールパネルから「Sounds」オプションウィンドウを開くか、システムトレイのスピーカーアイコンを右 クリックして「Open Sound settings」を選択します。

2.「Output」および「Input」で Galaxy 64 Synergy Core が選択されていることを確認します。

3.「Supported Formats」タブに入り、使用可能なすべてのサンプルレートにチェックを入れます。



４．「Enhancements」タブに入りすべてのエンハンスメントを無効にします。
５．「Advanced」タブを開き、ドロップダウンメニューから「2 channel, 24-bit」モードを選択します。「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。



他Sound settings に戻り「Input」の下にある「Device Properties」をクリックします。次に「Additional Device Properties」をクリックします。「Enhancements」タブに入り、すべてのエンハンスメントを無効にします。「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

Tips

- DAW と OS のオーディオ再生を同時に行うと途切れたり失敗したりする場合は、デバイスのサンプルレー トが DAW のサンプルレートと一致しているかどうかを確認してください。
- 「Playback」タブから一度デバイスを disable、そして再度 enable にすることで、ドライバをリフレッシュすることができます。これは、デバイスの接続を解除して再接続すると、Windows が使用しているアプリケーションの再生設定をリセットするのと同じことになります。
- 複数の再生アプリケーションを同時に実行する場合には「Advanced」タブの「Exclusive mode」を無効 にすると効果的な場合があります。
- 32kHz のサンプルレートを無効にすることは必須ではありませんが、一般的には役立つかもしれません。

更に詳細を知る

Antelope Audio Knowledge Base - Windows Optimization

macOS Mojave 10.14（以降）の設定

macOS（10.14以降）のセキュリティ設定により、正しく設定されているにもかかわらず、入力信号が DAW に届かない場合があります。
この手順は Galaxy 64 Synergy Core を初めて DAW で使用する場合に適用されます。

1 . DAW を起動し入力デバイスとして Galaxy 64 Synergy Core を選択します。
2 .「OK」をクリックすると DAW が正常に機能するようになります。

ただし、何らかの理由で上記のように正常に機能しなかった場合や、複数の DAW を使用している場合は「Security & Privacy」の設定で、それぞれに手動で調整を行う必要があります。

1. 「Apple」マークをクリックし、「System Preferences」を選択します。「Security & Privacy」の設定メニューに入ってください。
2. 「Privacy」タブをクリックします。左側の列で「Microphone」を選択します。使用する DAW の横にチェッ クマークがついていることを確認します。

THUNDERBOLT 3 の主な機能

Galaxy 64 Synergy Core の 2 基の Thunderbolt 3 ポートにより、以下の機能を実現します。

デイジーチェイン

Thunderbolt 3 では、デバイスを「デイジーチェイン」することができます。デイジーチェインとは、1 つのデバイスを別のデバイスに次々と繋げていくことができることを意味します。基本的な例としては、Galaxy 64 Synergy Core を 2 つの Thunderbolt 3 ポートを持つ外付けハードディスクドライブに接続することが挙げられます。1 つのポートは本製品が使用し、もう 1 つのポートはコンピューターまたはチェイン内の他の Thunderbolt 3 デバイスに接続します。

ただし、以下の条件がありますのでご注意ください。

1. Thunderbolt 3 仕様では、1 チェインあたり最大 6 台のデバイスまでに制限されています。ただし、以下の Apple コンピュータには、6 デバイスの制限は適用されません。

- 2018 MacBook Pro 以降
- 2018 Mac mini
- 2017 iMac Pro

これらのマシンは、デュアル Thunderbolt 3 バスを搭載しており、1 チェインあたり最大 12 台のデバイスをサポートしています。

2. 各デバイスは、後続のデバイスを動作させるためにそれぞれ電源を入れる必要があります。

3. USB または DisplayPort デバイスをいずれかのデバイスの下流の USB-C コネクタに直接差し込んだ場合、Thunderbolt デイジーチェインはその時点で終了します。

4. Thunderbolt 帯域幅はデイジーチェイン接続されたデバイス間で共有されるため、各デバイスで利用可能な帯域幅は必然的に減少します。そのため Antelope Audio は、デイジーチェイン構成においては、本機の最大のパフォーマンスを保証することはできません。

電源供給

Galaxy 64 Synergy Core は、Thunderbolt 3 ポートからあらゆる Type-C デバイスに給電することが可能です。例えば、ノートパソコン（2016 年版 MacBook Pro 以降など）に給電することができます。

下位互換性

Thunderbolt 3 は、サードパーティ製の TB 3 - Legacy TB アダプタと対応するケーブルを使用することで、Thunderbolt 2 および Thunderbolt 1 接続を使用することができます。技術的な変動があるため、本マニュアルではレガシーとの互換性に関する説明は行っていませ

ん。このセットアップに関してサポートが必要な場合は、カスタマーサポートにご連絡ください。

リモートコントロール

Galaxy 64 Synergy Core は、2 台のコンピューターに接続することが可能です。ただし、プライマリはレコーディング用コンピューターを割り当てる必要があり、もう 1 台はコントロールパネルアプリケーションのリモートコントロール専用にする必要があります。

なお、Thunderbolt 3 接続している 2 台のコンピュータを同時にデジタルオーディオに使用することはできませんので、そのような使用は避けてください。ただし、プライマリとセカンダリのコンピュータのソースを設定することは可能です。

「USB REMOTE」と表示された左側の Thunderbolt ポートを Type-C USB ケーブルで使用し、「リモートコントロール」用のコンピュータを接続します。

また、パソコンをリモートコントロールのみの目的で使用することも可能です。その場合、左の Thunderbolt ポートとパソコンの間に USB Type-C ケーブルを接続するのみとなります。接続後、Galaxy 64 Synergy Core Control Panel を起動すれば、操作が可能となります。

フロントパネル解説



Galaxy 64 Synergy Core のフロントパネルには、以下の項目（左から右）が専用に配置されています。

1. Atomic Clock Indicator— 本機が Antelope Audio 10M/10MX アトミックマスタークロックに同期しているときに点灯します。

2. Touchscreen— メインメニュー、メーターオプション、プリセット呼び出しへアクセスできます。タッチスクリーンの詳細については、「タッチスクリーンの機能」の章で説明します。

3. On/Standby Button— 電源が入ると点灯します。1 回押すと電源が入ります。もう一度押すと、スタンバイ状態になります。

4. Headphone Output— ヘッドホンモニター用ステレオ TRS 端子。

リアパネル解説



電源コネクタ



付属の電源のみでご使用ください。

HDX ポート



プライマリ HDX ポート 4 基、各 32ch のオーディオを搭載（合計 128ch）。Galaxy 64 Synergy Core には DigiLink Mini ケーブルは付属していません。

HDX Specs:

Interface Connection:	4 x HDX Ports, I/O
I/O Channel Count	128 Channels (32 Per Port)
Primary/Secondary ports	4 Primary
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM
Delay Compensation	Supported
Manual Delay Compensation	Supported (up to 128 samples)
Session I/O Support	Yes (16x16)

External Clock Inputs



ワードクロック入力×1、Atomic クロック入力×1（BNC コネクター）、外部クロックソースとの同期が可能。

Word Clock Inputs:

Word Clock Input	1 x Input @ 75 Ohms 3Vpp on BNC
10M Atomic Reference Input	1 x Input @ 75 Ohms 1Vpp on BNC
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

Loop Sync I/O



Pro Tools の同期用として BNC コネクタによる Loop Sync 入出力を装備。

Loop Sync I/O Specs:

Loop-Sync Input	1 x Input @ 75 Ohms 3Vpp on BNC

Loop-Sync Output	1 x Output @ 75 Ohms 3Vpp on BNC

Word Clock Outputs



Galaxy 64 Synergy Core に外部機器を同期させるためのワードクロック出力（BNC コネクター）×6 系統。

Word Clock Output Specs:

Word Clock Output	6 x Output @ 75 Ohms 3Vpp on BNC

Dante® Connections



RJ 45（Ethernet）ポートでプライマリおよびセカンダリの Dante®接続が可能です。オーディオの入出力チャンネル数は、サンプルレートに依存することにご注意ください。セカンダリ Dante® ポートは、プライマリ Dante® ポートとミラーリングされ、リダンダントポートとして機能しますが、独立したチャンネル数を提供するものではありません。

Dante Specs:

Interface Connection:	2 x RJ-45 Ports, I/O

Connectivity	1x Primary Port 1x Secondary Port (For redundancy only)
I/O Channel Count	64 Channels @44.1/48.0 kHz 32 Channels @88.2/96.0 kHz 16 Channels @176.0/192.0 kHz
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

S/PDIF & AES Connections



RCA コネクターによる S/PDIF I/O（左）と XLR コネクターによる AES I/O（右）。

S/PDIF Specs:

Interface Connection:	2 x RCA Connectors
SPDIF SRC	Supported
I/O Channel Count	2 channels
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

AES/EBU Specs:

Interface Connection:	2 x XLR Connectors
AES Mode	AES/EBU
I/O Channel Count	2 channels

Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

MADI Connections



MADI I/O は、両端が SC-Plug の光ファイバーケーブルでデジタルオーディオを伝送します。標準的な MADI オーディオの制限は、コネクタごとに適用されます。

MADI Specs:

Interface Connection:	2 x Optical SC Connectors
MADI Mode	Dual Wire, Optical
SMUX	Supported
MADI Protocol	AES10-2003
I/O Channel Count	64 Channels @44.1/48.0 kHz 32 Channels @88.2/96.0 kHz 16 Channels @176.0/192.0 kHz
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

Thunderbolt 3 Computer Connections



2 基の Thunderbolt 3 Type-C ポートを搭載し、PC/Mac の接続やユニットのデイジーチェイン接続が可能です。また、左側のポートでは、リモートコントロール用のセカンダリーコンピューターへの USB 接続が可能です。

Thunderbolt Specs:

Interface Connection:	2 x Thunderbolt 3 (Type-C) Ports, I/O
I/O Channel Count	64 Channels (per port)
Daisy-chain	Supported
Remote Control	Supported (over USB Type-C)
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

Monitor Speaker Outputs



L/R スタジオスピーカー出力（1/4 インチ TRS コネクタ）。このマスタリンググレードのモニター出力は、システムの中で最も広いダイナミックレンジを誇ります。

Monitor Output Specs:

Output Connection:	2 x 1/4” 6.35 mm Jack (3 pin)
Chanel Count	2 Mono Channels
Output level	-inf to 24dBu // 1 dB step
Dynamic Range	130 dB
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

THD+N (A)	-115 dB
Impedance Load	11.2 kOhms

Line Outputs

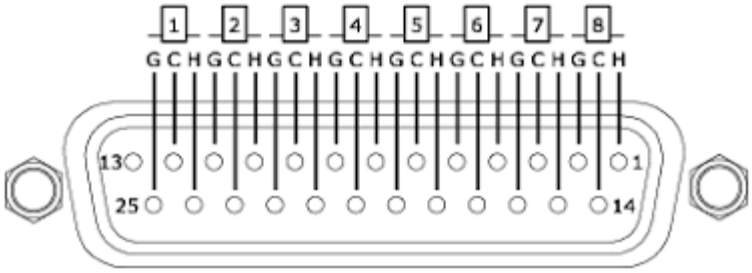


TASCAM ピンアサインの DC カップリング DB25 コネクター8 基で 64 系統のラインオーディオを出力。

Line Output Specs:

Output Connection:	8 x D-sub 25-pin (Tascam Standard)
I/O Channel Count	64 Channels
Output level	-inf to 24dBu // 1 dB step
Dynamic Range	128 dB
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM
THD+N (A)	-115 dB
Impedance Load	11.2 kOhms

TASCAM's DB-25 Pinout Standard:



Line Inputs

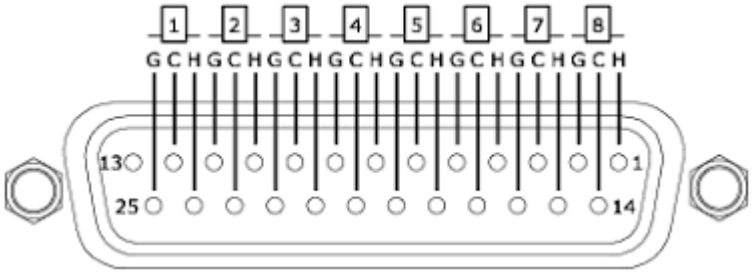


TASCAM ピンアサインの DC カップリング DB25 コネクター8 基で 64 ラインオーディオ入力。

Line Input Specs:

Input Connection:	8 x D-sub 25-pin (Tascam Standard)
I/O Channel Count	64 Mono Channels
Input level trim	14 dBu to 24 dBu in steps of 1 dB
Dynamic Range	121 dB
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM
THD+N (A)	-112 dB
Impedance Load	11.2 kOhms

TASCAM's DB-25 Pinout Standard:



タッチスクリーンの機能

タッチスクリーンは 1 本指のタップで動作します。ピンチ・トゥー・ズーム、マルチタッチなど、その他の従来のジェスチャーは使用できません。

初期設定では、選択したオーディオソースの各チャンネルに最大 32 個のピークメーターが表示されます。メーターのオーディオソースを変更するには、どこかをタップします。選択肢については、「Routing Matrix」で説明しています。

以下の機能が利用できます。

MENU ボタン

タップすると、Galaxy 64 Synergy Core のメインメニューが開き、以下のオプションが表示されます。

- Presets Saving - タップして現在の設定をプリセットスロット 1〜5 に保存します。
- Factory reset - 設定をデバイスのデフォルト状態に戻します。すべてのプリセットが失われることに注意してください。
- 10M Calibration - 10M キャリブレーション手順を入力し、クロックの偏差を修正します。
- Device Info - シリアル番号、ハードウェアおよびソフトウェアのリビジョン情報を表示します。

- Touch Scr Calibration - タッチスクリーンのキャリブレーション手順に入ります。
- Loop Sync Mode - Pro Tools の Loop Sync のオンとオフを切り替えます。
- Brightness - スライダーをドラッグして画面の輝度を調整します。
- Scr Save Style - スクリーンセーバーの種類を選択します。
- Scr Save Time - スクリーンセーバーが表示されるまでの時間を選択します。最も短く設定することをお勧めします。

LOCK インジケーター

デバイスがコンピュータに「Locked」されていることを示します。

Clock Source

LOCK インジケーターの横には、クロックソースを選択するドロップダウンメニューがあり、以下の選択肢があります。

- Internal – 内部クロック。
- WC - ワードクロック入力に接続された外部クロックジェネレータ。
- S/PDIF - 準拠の接続機器からの S/PDIF クロック。
- AES - 準拠の接続機器からの AES クロック。
- MADI (1x, 2x, 4x) - 準拠の接続機器からの MADI クロック。
- HDX - Pro Tools システムからの HDX クロック。
- DANTE - 対応ネットワーク機器からの Dante®クロック。

Sample Rate Indicator

現在のデバイスのサンプルレートが表示されます。タップしてサンプルレートを変更します。デバイスのサンプルレートが、DAW プロジェクトのサンプルレートおよび Dante® Controller アプリケーションの設定と一致していることを確認してください。

POWER ボタン

オン／スタンバイのモードが切り替わります。

MON ボタン

モニター出力の音量調整、信号のトリム値の選択、出力のミュート/ミュート解除ができます。

HP ボタン

ヘッドホン出力の音量調整とミュート／ミュート解除ができます。

LINE ボタン

ライン出力の音量調整とミュート/ミュート解除ができます。

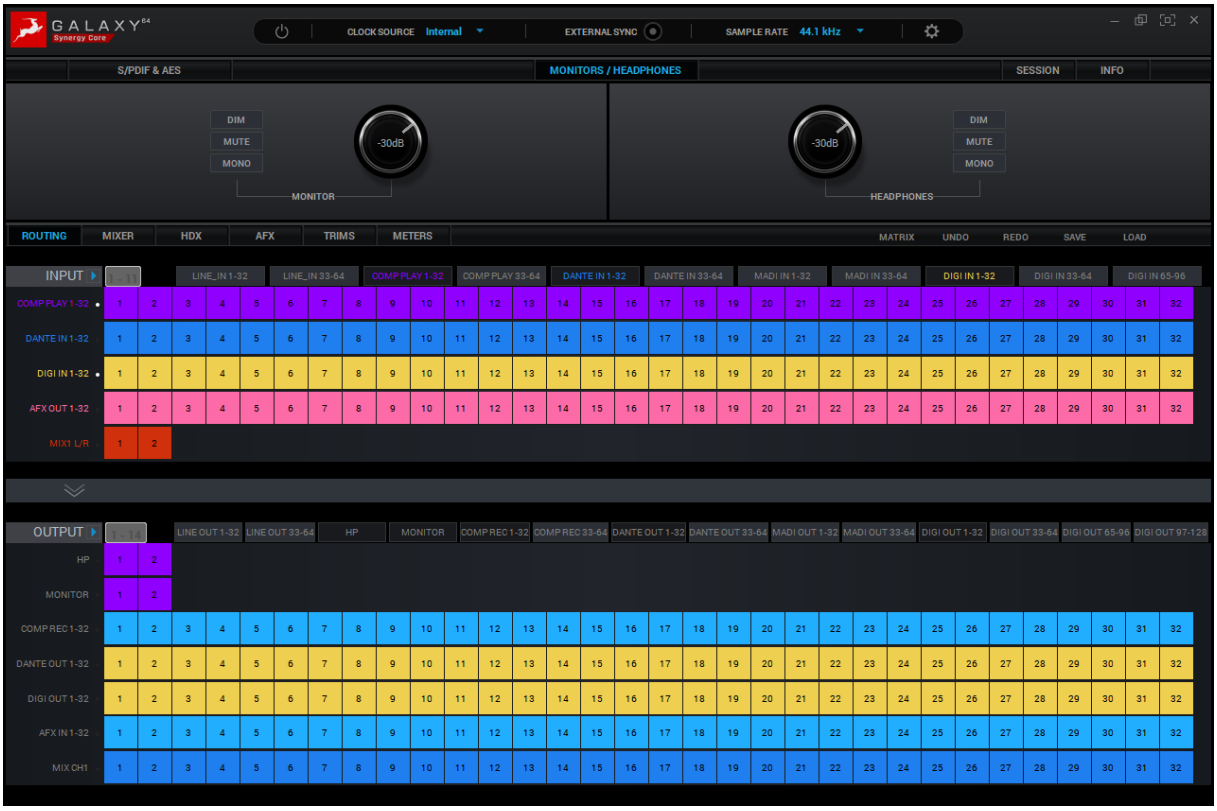
IF ボタン

通信インターフェイスを USB、Thunderbolt、Dante®から選択します。

P1 - P5 ボタン

プリセット 1～5 を呼び出すことができます。

CONTROL PANEL アプリケーション



イントロダクション

Galaxy 64 Synergy Core Control Panel アプリケーションを説明いたします。このアプリケーションは、本機の各機能に直感的かつ包括的にアクセスできます。設定、シグナルルーティング、オーディオミキシング、Synergy Core エフェクト、メータリング、プリセットなどが含まれています。

このソフトウェアを使いこなして、新しいオーディオインターフェイスを最大限に活用していただきたいと思います。例えば「Mixer」タブで最初のミックスを行い、それを DAW にルーティングして詳細なポストプロダクションを行うのは非常に便利だと感じるかもしれません。さらに、ルーティングマトリクスにはすべてが明確にラベル付けされ、色分けされているので、オーディオの入力と出力を理解するのに困ることはありません。

「クイックスタート 」の章を読んですぐに始めることもできますし、バーチャルノブやフェーダーを操作する前に、この章を飛ばして全体を読むこともできます。

クイックスタート

まず、コントロールパネルで行う重要な作業の例をいくつか挙げてみましょう。

注：これらの例は、以下のタスクを実行するための「正しい」または「唯一の」方法を伝えるものではありません。基本的な論理を説明し、初心者の方が最初に陥りやすい問題点を解決するためのものです。

入力信号をヘッドフォンでモニターする

Line In 1と2からのオーディオを、ヘッドフォン出力に接続されたヘッドフォンでモニターしたいとします。コントロールパネルを開き、「Routing」タブに入ります。「Line In 1 – 32」 の行にある 「1」と 「2」という色のついたラベルのブロックをクリックし、「HP」の行にあるブロックのペアの上にドラッグしてください。Line In は 「INPUT」 セクションの中に、HP は 「OUTPUT」 セクションの中にあります。

コントロールパネルの「Monitors & Headphones」タブ、またはタッチスクリーンでヘッドフォンのボリュームを調整します。

入力されたオーディオに Synergy Core FX を適用する

例えば、Line input 1 のオーディオを FX 処理し、その音を Monitor outputs に接続したスタジオモニターでモニターしたいとします。

コントロールパネルを開き、「Routing」タブに入ります。「Line In 1 - 32」の行から 「1」と書かれた色のブロックをクリックし、「AFX IN 1 – 32」の 「1」と書かれた色のブロックにドラッグしてください。

次に、「AFX OUT」の行から色の付いた番号のブロック「1」を「MONITOR」の行のブロックの上にドラッグします。

次に、「AFX」タブをクリックします。「ADD NEW EFFECT」ドロップダウンメニューをクリックし、お好みの FX を追加します。FX 処理されたオーディオを聞きながら、エフェクトのパラメータの設定をいじってみてください。

オーディオを DAW にルーティングしてレコーディングをする

ルーティングマトリックスの「INPUT」セクションのオーディオ入力チャンネルを、「OUTPUT」セクションの「COMP REC 1 – 32」と「COMP REC 33 – 64」の64ブロックに色付きのブロックをドラッグすることで DAW に信号を送ることが可能です。「COMP REC」列は、DAW 上ではオーディオ入力1〜64に相当します。

この自由度の高いルーティングマトリックスを使用することで、Dry 音と FX 処理された(Wet)オーディオを異なるトラックに同時に録音したり、個々のミックスをマルチトラックまたは2チャンネルステレオ形式で出力したり、選択したオーディオを可能な限り低いレイテンシーでモニターしたりすることができます。

Mouse & Keyboard ショートカット

以下の機能は、コントロールパネルのマウス＆キーボードショートカットでアクセスできます。

- 初期値に戻す（すべてのノブ、フェーダー）：

  ノブまたはフェーダーをダブルクリック。

- テキストラベルの変更とゲイン値の手動入力：

  テキスト・ラベル／ゲイン値をダブルクリック。

- パラメータ値をより小さな単位で調整（すべてのノブとフェーダー）：

  Ctrl（Windows）/Command（macOS）を押したままドラッグ。

- コントロールパネルのタブを取り外し、移動、サイズ変更：

  右クリック（Windows）/Command クリック（macOS）し、タブをドラッグ。

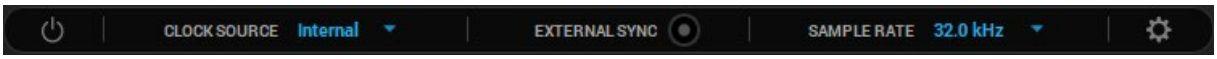
- ピークメーターをクリックしてピークをクリア。

コントロールパネルウィンドウの角をクリックしてドラッグすると、インターフェイスを自由にサイズ変更することができます。画面比率を維持するために、ウィンドウに黒い帯が自動的に追加されることに注意してください。これはデザインによるもので、「バグ」ではありません。

メインビュー

メインビューは、コントロールパネル上部に常に表示されています。このビューには、以下のエリアがあります。

Function Strip



左から順に Function strip の内容は以下の通りです。

On/StandBy ボタン

クリックすると Galaxy 64 Synergy Core の電源をオンにしたり、スタンバイ状態にすることができます。

Clock Source

ドロップダウンメニューをクリックしてクロックソースを選択します。以下の選択肢があります。

- Internal
- W.C.
- S/PDIF
- AES
- MADI (２ｘ, ４ｘ)
- HDX

External Sync Indicator

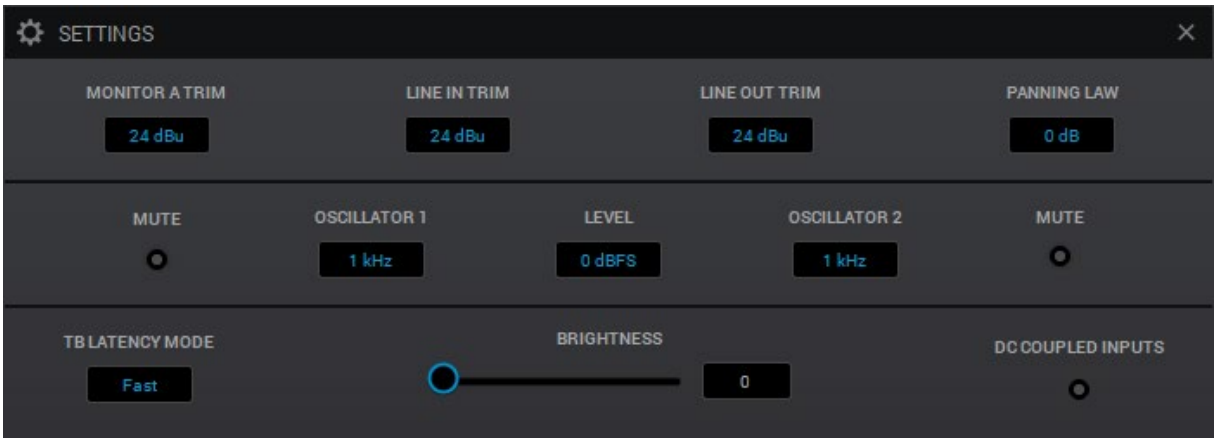
Galaxy 64 Synergy Core が外部クロックソースにロックしているときに点灯します。

Sample Rate

ドロップダウンメニューでデバイスのサンプルレートを選択します。DAW や OS のサンプルレートに合わせて選択してください。

Settings ボタン

クリックすると「Settings Window」が開きます。以下のオプションが用意されています。



MONITOR TRIM

モニター出力の信号トリム値（dBu 単位）を選択します。

LINE IN TRIM

ライン入力の信号トリム値（dBu 単位）を選択します。

LINE OUT TRIM

ライン出力の信号トリム値（dBu 単位）を選択します。

PANNING LAW

Panning Law の補正を 0dB（なし）から-4.5dB の間で指定します。

OSCILLATOR 1 - MUTE

テストオシレーター1 の出力をミュートします。

OSCILLATOR 1

テストオシレーター1 の周波数を選択します。

OSCILLATOR 2

テストオシレーター2 の周波数を選択します。

OSCILLATOR 2 - MUTE

テストオシレーター2 の出力をミュートします。

TB LATENCY MODE

Thunderbolt のレイテンシーモードを選択します。音声の途切れやグリッチが発生する場合は、さまざまなモードを試してみてください。

BRIGHTNESS SLIDER

クリック＆ドラッグで Galaxy 64 Synergy Core のデュアルディスプレイの輝度を調整できます。

DC COUPLED INPUTS

Galaxy 64 Synergy Core のライン入力の DC-coupling を有効にする場合にクリックします。

Window Controls



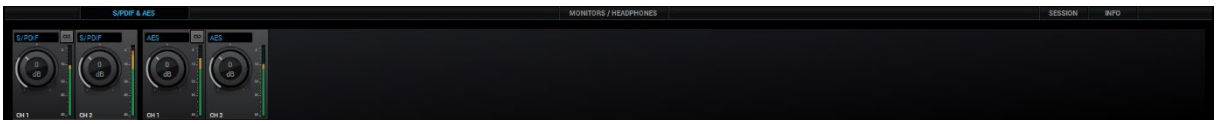
左から右へ：最小化、最大化、デフォルトサイズに戻す、ウィンドウを閉じる。

Tab Selector



メインビューを S/PDIF & AES｜MONITORS/HEADPHONES｜SESSION｜INFO の各ビューに切り替えます。

S/PDIF & AES タブ

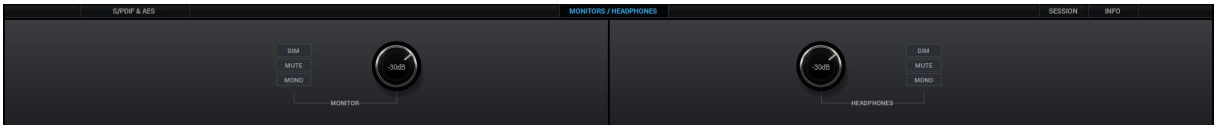


このビューには 2ch 分の S/PDIF と 2ch 分の AES/EBS のデジタルオーディオチャンネルのコントロールが含まれています。コントロールは同一で、以下の機能を備えています（上から下へ）。



- Link button - 隣接する S/PDIF または AES/EBU チャンネルをリンクします。1 つのチャンネルに加えた調整は、隣のチャンネルにも反映されます。
- Gain knob - クリック＆ドラッグして信号のゲインを調整します。
- Peak meter - ゲインのメータリングを表示します

MONITORS/HEADPHONES タブ



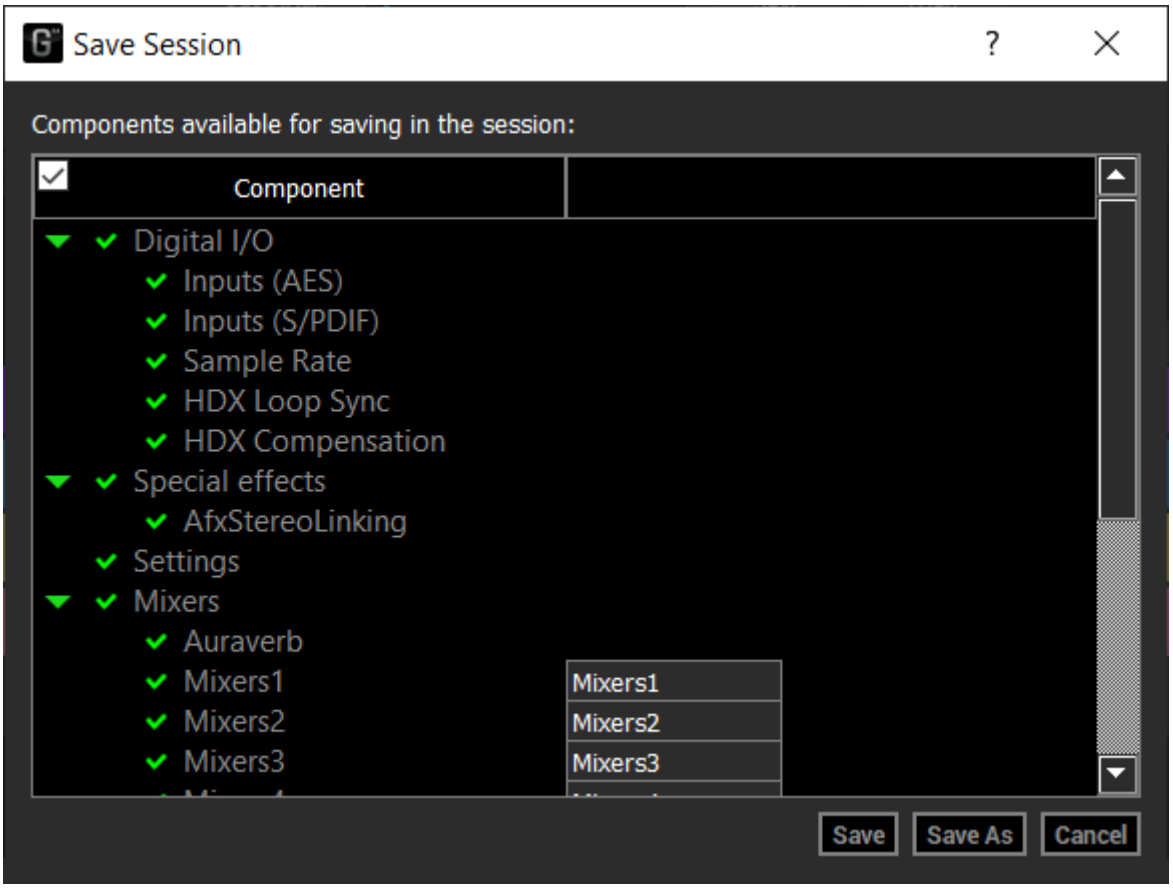
この画面では Galaxy 64 Synergy Core のモニターとヘッドフォン出力のコントロールを行います。

- DIM - オーディオレベルを下げます（dim スイッチ）
- MUTE - オーディオ出力をミュートします。
- MONO - 出力をモノラルにまとめます。
- Volume knob - クリック＆ドラッグで出力音量を調整できます。

SESSION タブ

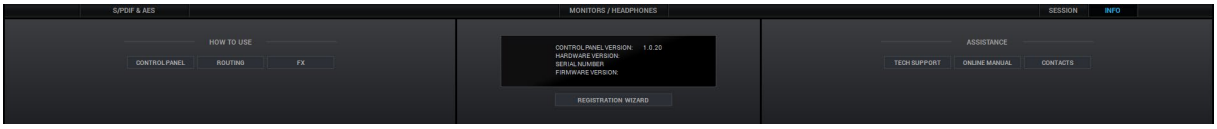


このタブでは、Session の保存と読み込みができます。Session とは、コントロールパネルの設定を完全にスナップショットしたものです。これにより、特定のゲインやルーティングの調整、デバイスの設定などを簡単に呼び出すことができます。Session はハードディスクに *.as ファイルとして保存され、他の Galaxy 他Synergy Core ユーザーと簡単に共有することができます。



「Save Session」 および 「Load Session」 ウィンドウでは、コントロールパネルの該当するコンポーネント毎に選択して Session 保存、または Session ファイルから選択して読み込みを行うことができます。保存または読み込みたいコンポーネントの横にあるチェックマークをクリックして、保存または読み込みを行います。

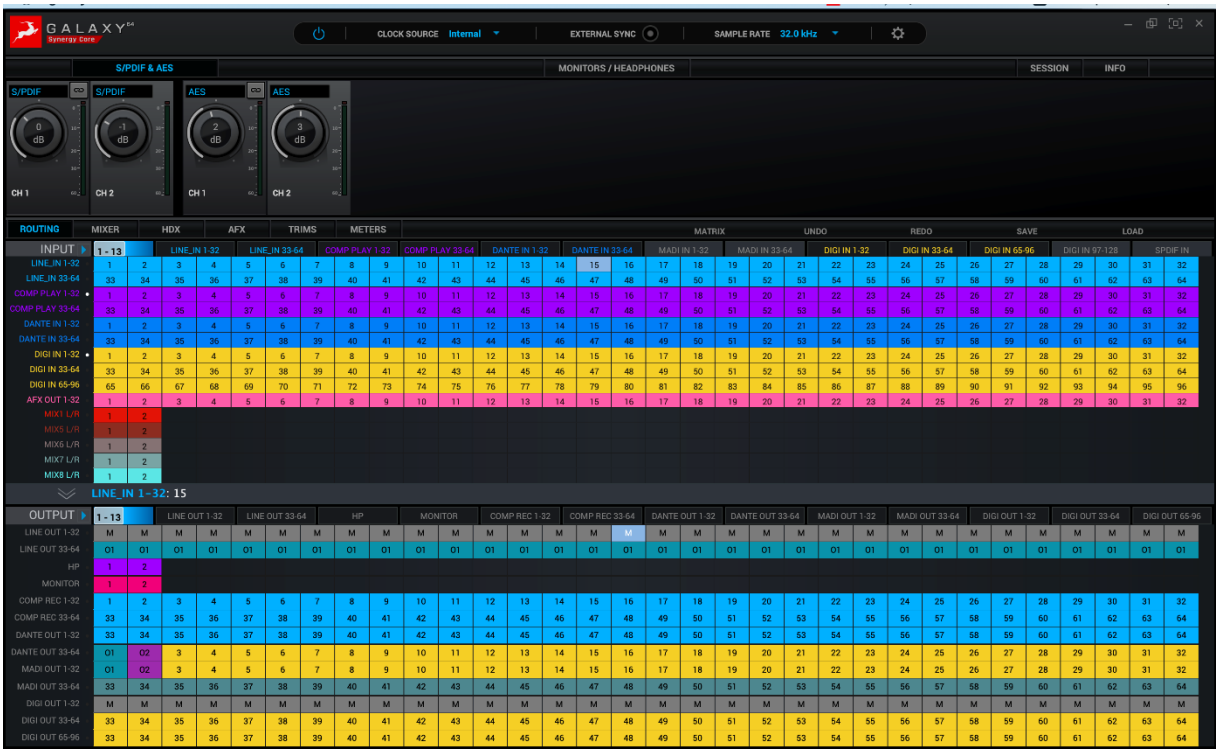
INFO タブ



INFO タブには下記を含みます：

- Control Panel、ルーティング、Synergy Core FX の機能を解説した YouTube 動画へのショートカット。
- ファームウェア、ハードウェア、ソフトウェアの情報。
- デバイスの登録や購入した Synergy Core FX やアドオンの割り当てに使用される Antelope 登録ウィザードを開く「Registration Wizard」ボタン。
- Antelope Audio Tech Support、Galaxy 64 Synergy Core のユーザーマニュアル、お問い合わせ先へのショートカット。

ROUTING タブ





このタブには、アナログとデジタルのオーディオルーティングのための Routing Matrix が含まれます。Routing Matrix は行単位で構成されています。各行は独自の色を持ち、特定のオーディオ入力または出力とその最大チャンネル数を表しています。

Routing Matrix は大きく 2 つのセクションに分かれています。Input（Source）と Output（Destination）です。色のついた数字ブロックをドラッグ＆ドロップすることで、それらの間にオーディオをルーティングします。 また、以下のような機能があります。

- 数字のブロックをクリックするとその数字が現在ルーティングされている先のブロックがハイライト表示されます。
- 数値ブロックをダブルクリックするとそのテキストラベルを変更することができます。
- 色のついた行名（水平方向の入出力バーに表示される）をクリックすると、Routing Matrix で選択した入出力の表示/非表示を切り替えることができます。
- 複数のブロックを選択するには、Ctrl (Windows) /Command (Mac) + クリック、または Shift + クリックの OS ショートカットを使用します。
- グリッドベースの表示も可能です（「MATRIX」）。
- Undo/Redo ボタンが用意されています。
- Save/Load ボタンはセッション全体ではなく、ルーティングのセットアップを保存、ロードするためのボタンです。
- Routing タブボタンを右クリック（Windows）または Command＋クリック（Mac）してドラッグすると、Routing Matrix が専用のフローティングウィンドウで表示されます。

Routing Matrix 用語解説

ここでは Routing Matrix の各行について説明します。

INPUT SECTION

LINE IN 1-32, 33-64

これらの行は 64 個のライン入力を表しています。

COMP PLAY 1-32, 33-64

これらの行は DAW の「出力 1〜64」を表しています。

ここで DAW からのオーディオを受信します。

DAW で新しいトラックを作成し、出力に一致する番号を割り当てます（例：DAW 上での 'Output 1' = 'COMP PLAY' 1）。.

これらの行は、メディア再生や YouTube など、すべてのコンピュータオーディオを表します。デフォルトではコンピューターオーディオは出力 1 と 2 にルーティングされます。

DANTE IN 1-32, 33-64

これらの行は Dante®ネットワークから入力される 64 チャンネルを表しています。

MADI IN 1-32, 33-64

これらの行は MADI デジタルオーディオから入力される 64 チャンネルを表しています。

DIGI IN 1-32, 33-64, 65-96, 97-128

これらの行は HDX デジタルオーディオから入力される 128 チャンネルを表しています。

AFX OUT 1-32

この行は Synergy Core FX を適用した 32 のオーディオチャンネルを表しています。

MIX1 L/R

この行は内臓のバーチャルミキサー1 のメイン出力 1 と 2 を表しています。 8 つのバーチャルミキサーは MIXER タブにあります。

OUTPUT SECTION

LINE OUT 1-32, 33-64

これの行は 64 のライン出力を表しています。

HP

この行はヘッドフォン出力を表します。

MONITOR

この行は 2 チャンネル分のモニター出力を表します。

COMP REC 1-32, 33-64

この行は DAW 入力 1〜64 を表しています。ここにオーディオを送って DAW に入力して録音します。「COMP REC」出力から録音するには、「Routing」タブからオーディオをルーティングします。DAW で新規トラックを作成し、対応する番号の入力を割り当てます（例：「COMP REC 1」 = DAW「Input 1」）。

DANTE OUT 1-32, 33-64

これらの行は Dante®ネットワークへの出力する 64 チャンネルを表しています。

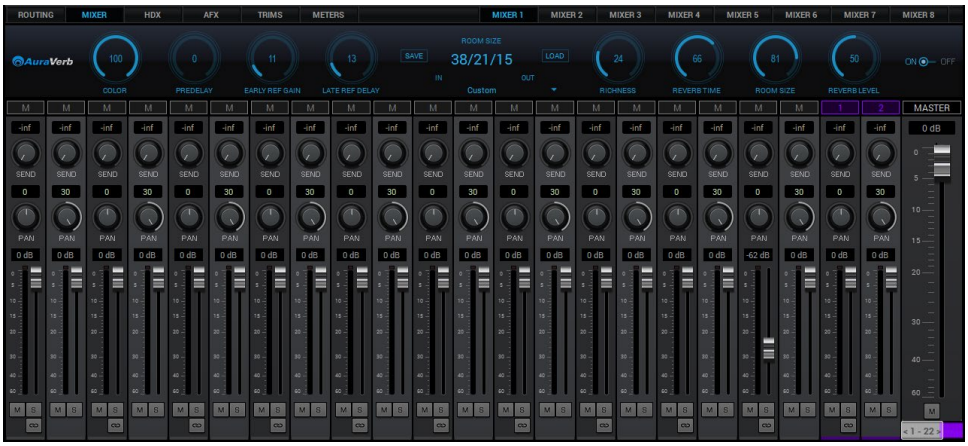
MADI OUT 1-32, 33-64

これらの行は MADI へ出力される 64 チャンネルを表しています。

DIGI OUT 1-32, 33-64, 65-96, 97-128

これらの行は HDX デジタルオーディオへ出力される 128 チャンネルを表しています。

MIXER タブ



Mixer タブには 32 チャンネルのバーチャルミキサーが 8 つ用意されています。各チャンネルには、パン、ボリューム、ソロ、リンクコントロール（奇数チャンネルのみ）とメーターが装備されています。マスターチャンネルにはボリュームとミュートのコントロールがあります。

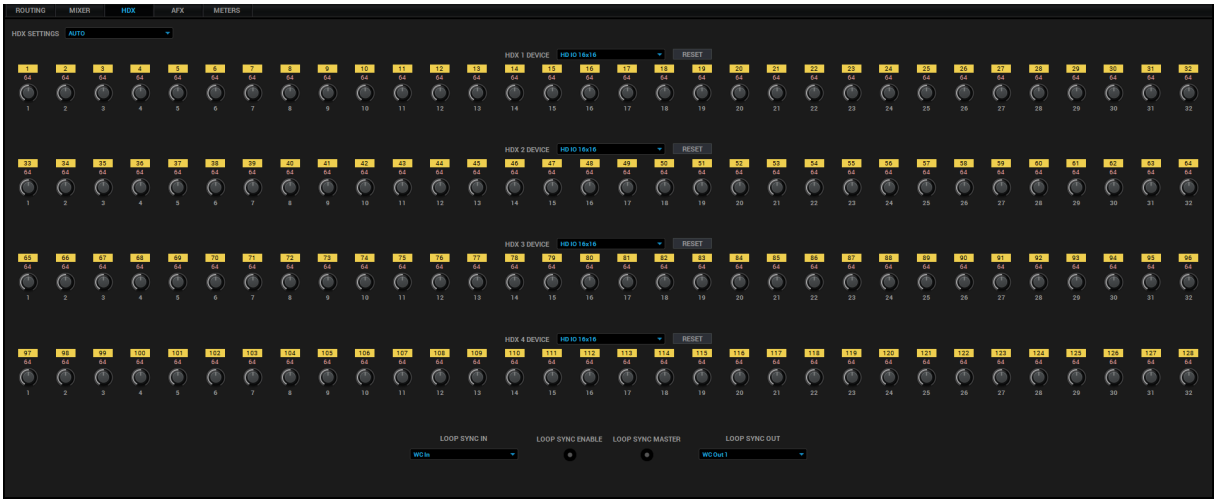


マスターフェーダーのすぐ下にある色つきのスライダーがあります。クリックして左右にドラッグすると、ミキサーの全体を水平方向にチャンネル 1—32 までスクロールできます。

制限事項

- グループ/バス/サブミックス機能はありませんが、8 つの本格的なミキサーを搭載しているので、メインミックスの他にサブミックスを設定することができます。
- 技術的な理由により、現時点ではミキサー内のボリュームオートメーションは提供できません。ですが Synergy Core FX のオートメーションは、AFX2DAW を使って DAW 上から可能です。
- MIDI コントロールには現在対応していません。

HDX タブ



「HDX」タブには、Pro Tools に関連する以下の機能があります。

HDX Settings

HDX の遅延補正を Auto、Manual、None のいずれかにするドロップダウンメニューです。

HDX １ - ４Device

Galaxy 64 Synergy Core が扱う 128 の HDX オーディオチャンネルは、4 つのバーチャル HDX デバイスに分散されます。各バーチャルデバイスは 32 のオーディオチャンネルを処理します。これらのドロップダウンメニューで、Pro Tools 上でこれらのバーチャル HDX デバイスをどのように表記されるようにするのかを選択できます。

黄色の数字表記

オーディオチャンネルを表しています。

Delay compensation ノブ

「HDX Settings」 が 「Manual」 に設定されている場合、これらのノブで個々のオー ディオチャネルの HDX 遅延補正(０～ １２８サンプル) を調整することができ ます。

Loop sync in

Pro Tools のループシンクを提供する外部クロック入力を選択するためのドロップダウンメニューです。オプションは Word Clock In または Atomic Clock In です。

Loop sync enable

クリックすると、ループシンクのオン／オフが切り替わります。

Loop sync master

Galaxy 他Synergy Core をプライマリループシンクソースとして割り当てる場合にクリックします。

Loop sync out

ループシンク信号をどの Word Clock 出力にルーティングするかを選択するためのドロップダウンメニューです。

AFX タブ

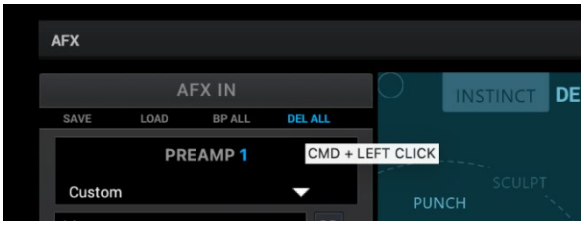
「AFX」ビューはフローティングウィンドウになっています。サンプルレートに関係なく、モノラルオーディオチャンネルごとに最大 8 つの Synergy Core エフェクトを適用することができます。



- オーディオを「Routing」タブの「AFX IN」行の入力にルーティングします。
- 作業するオーディオ入力（またはリンクされたペア）をクリックします。



- 「Link」ボタンは各ペアの入力に用意されています。2 つの入力をリンクすると、まったく同じ FX 処理が両方に適用されます。入力およびリンクされた入力の名前は、左側のプリセットドロップダウンメニューのすぐ上に表示されます。
- 「DEL ALL」 ボタンは、すべてのオーディオチャンネルのすべての FX Rack をクリアします。この機能は macOS (CMD + 左クリック) & Windows (Ctrl + 左クリック)でプロテクトが入ります。



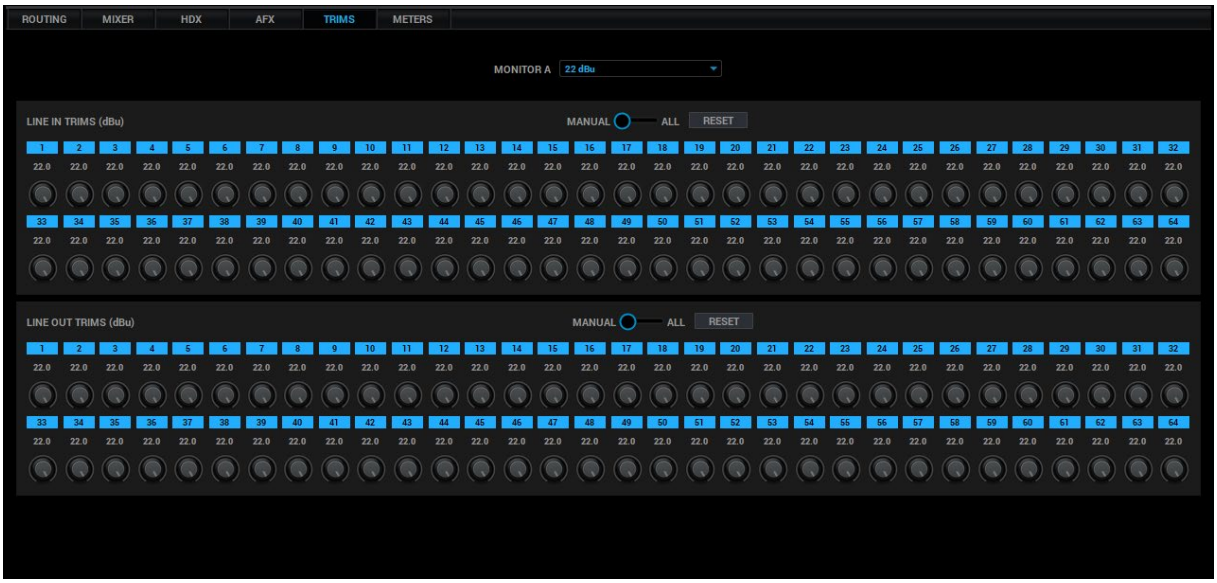
- 「ADD NEW EFFECT」 ドロップダウンメニューをクリックし、エフェクトを選択して追加します。エフェクトのインスタンスは右側の FX Rack に表示されます。左のリストにあるエフェクトはドラッグして順番の並び替えが可能です。
- 「SAVE」と「LOAD」ボタンを使って、FX チェインを保存します。
- 「BP ALL」と「DEL ALL」ボタンを使って、現在のチャンネルのすべての エフェクトをバイパスまたは削除することができます。
- 左のリストで各エフェクトの横にある「BP」（バイパス）ボタンが利用できます。
- Ctrl（Windows）または Command（Mac）を押しながらドラッグすると、エフェクトのパラメータをより細かく調整することができます。

Notes:

- エフェクトのマニュアルはこちらにご用意しています。

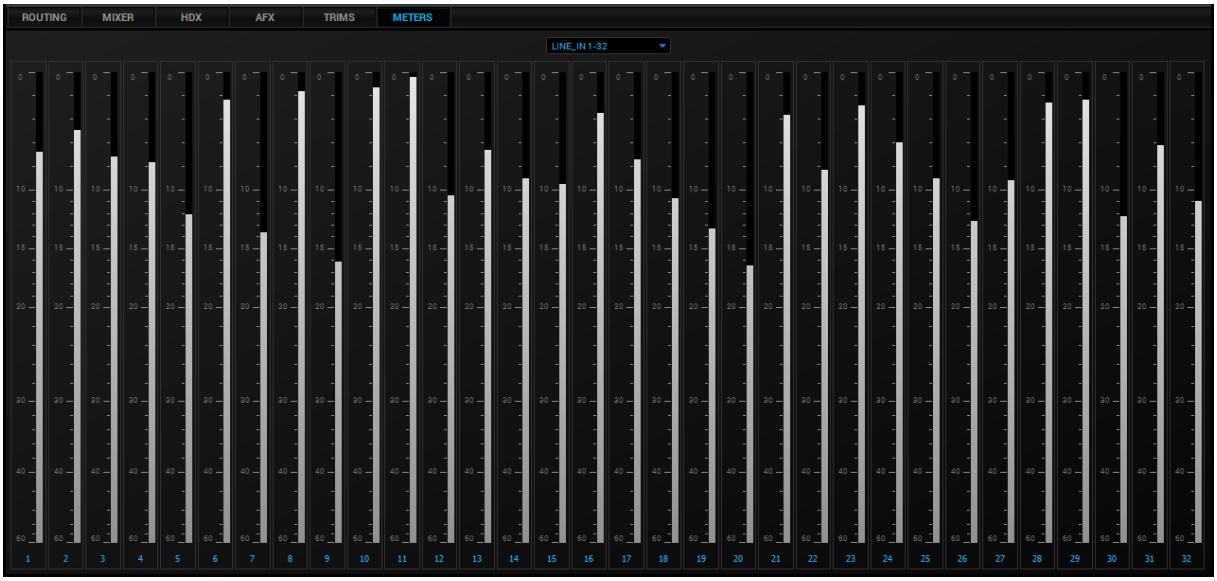
- Antelope Audio AFX2DAW プラグインは、Synergy Core FX を DAW 内で使用することを可能にするプラグインです。詳しくは、AFX2DAW product page をご覧ください。

TRIMS タブ



このタブでは、モニター出力、ライン入力、ライン出力の信号トリムを調整することができます。デフォルトでは、信号のトリムは２２dbu に設定されています。Manual/All スイッチを使って、個々のオーディオチャンネルまたはグローバルに信号のトリムを調整します。「Reset」 ボタンをクリックすると、すべてのトリム値がデフォルトに戻ります。

METERS タブ



このタブでは、GALAXY 64 SYNERGY CORE のすべてのオーディオ入出力の信号レベルを監視することができます。ドロップダウンメニューをクリックし、入力または出力を選択します。

GETTING STARTED WITH DANTE®

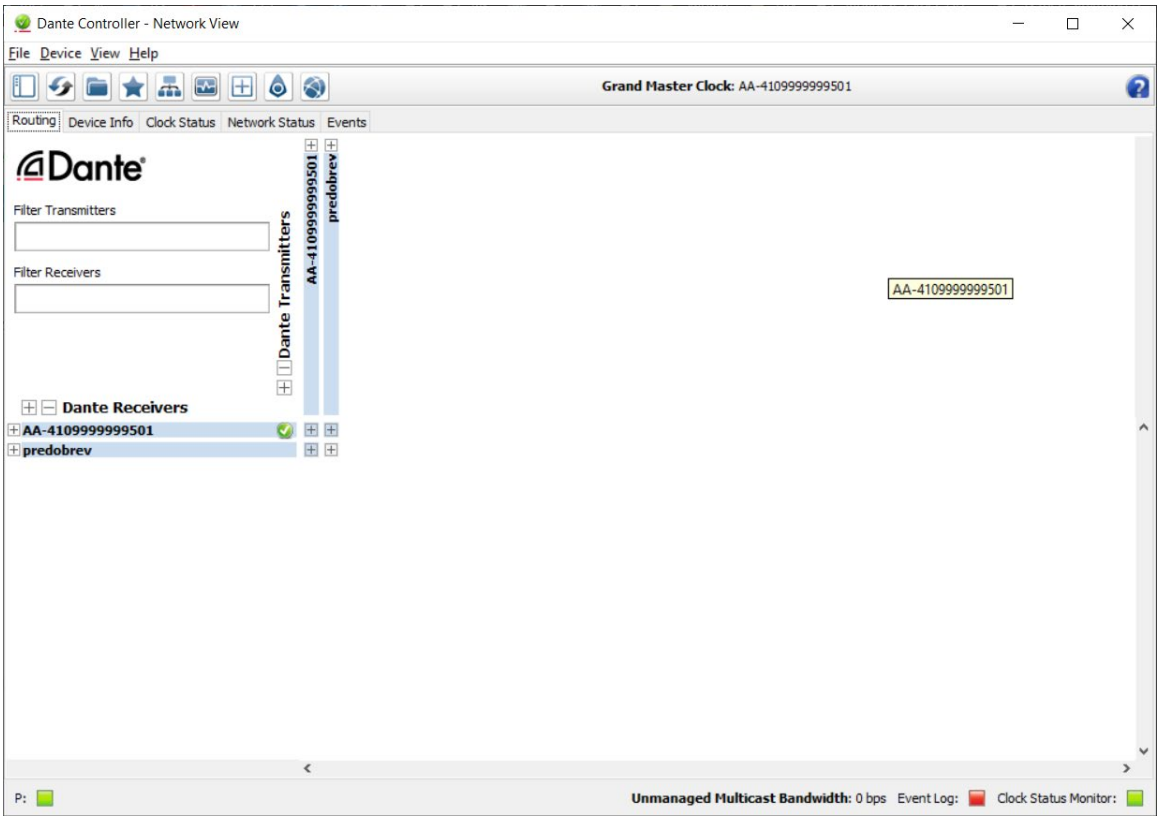
Dante オーディオネットワークは、ほぼすべてのプロフェッショナルオーディオメーカーに採用されており、標準的な IP ネットワークを使用して、高品質の非圧縮オーディオを最小のレイテンシーで伝送します。

Dante®を使い始めるためには：

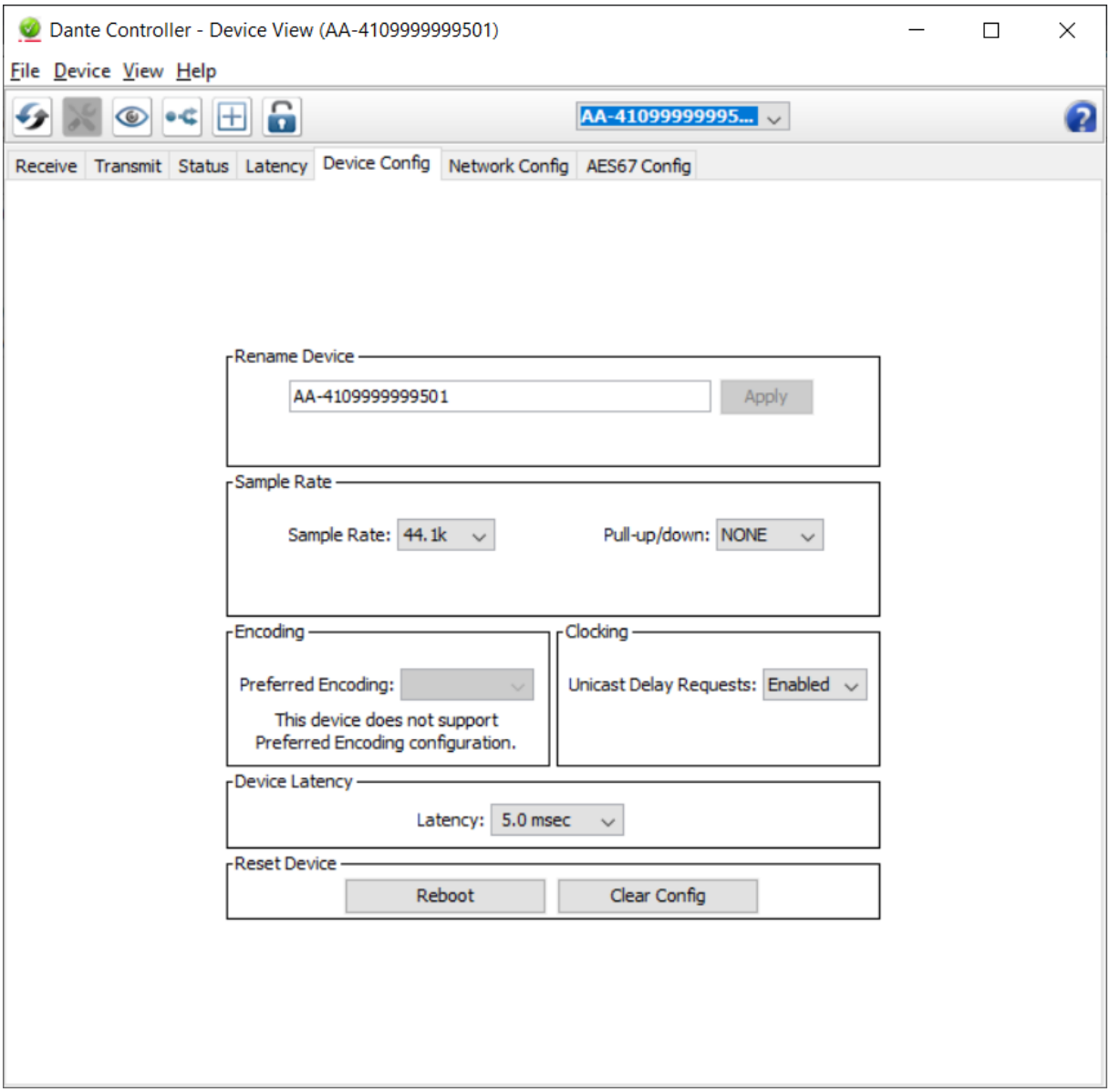
1. Audinate 社の Dante Controller Windows/Mac アプリケーションをダウンロードしてインストールします。

2. Galaxy 64 Synergy Core とコンピューターまたはネットワークハブを、標準の Cat5 または Cat6 イーサネットケーブルで接続します。

3. Dante Controller を起動します。Galaxy 64 Synergy Core は「AA-SERIALNUMBER」と表示されます。

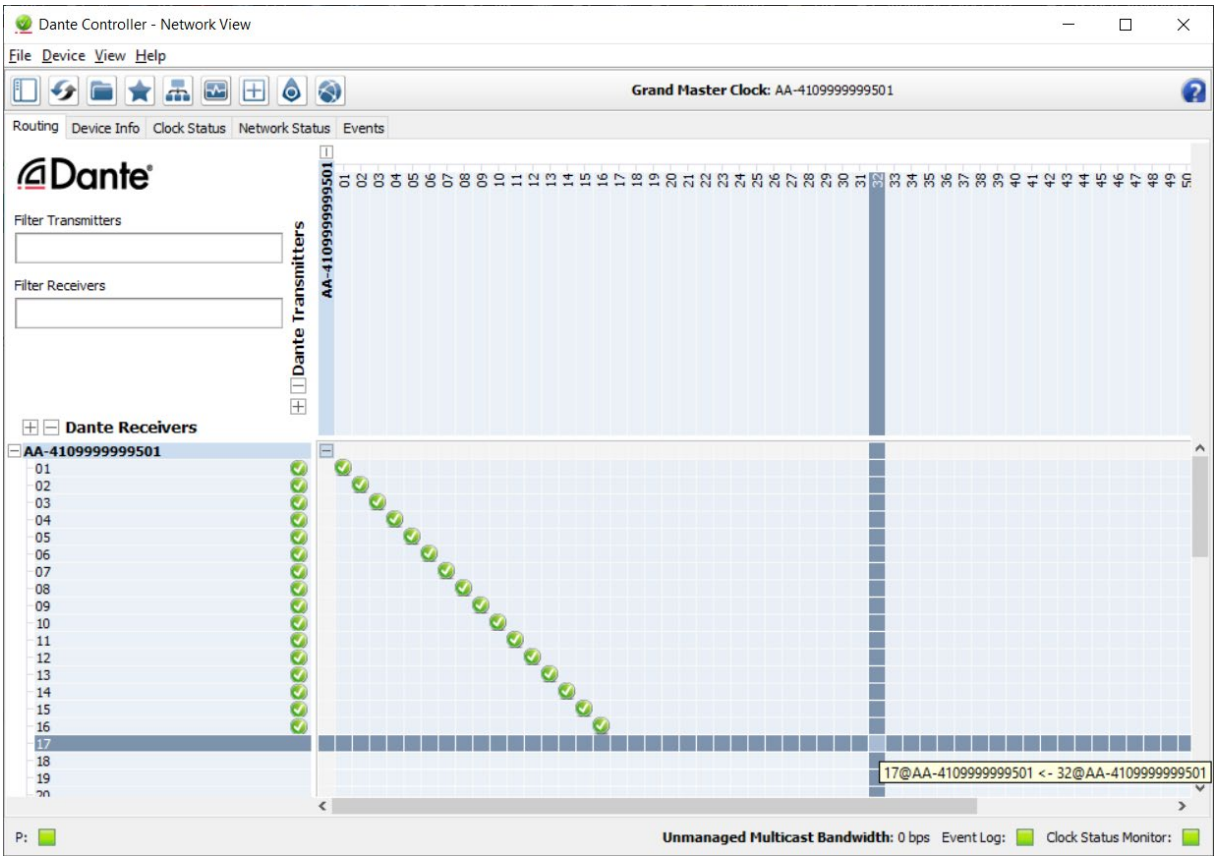


4.「Device」をクリックし、「Device View」を選択します。ドロップダウンメニューから Galaxy 64 Synergy Core を選択し、「Device Config」タブに向かいます。



5. サンプルレートがデバイスと DAW プロジェクトのものと一致していることを確認します。確認できたらウィンドウを閉じてください。

6. Dante® Controller アプリケーションに戻り、提供されたルーティングマトリクスと Galaxy 64 Synergy Core Control Panel アプリケーションを組み合わせて、ネットワーク内のオーディオをルーティングします。


Dante Controller - Network View
File Device View Help
Grand Master Clock: AA-4109999999501
Routing
Device Info
Clock Status
Network Status
Events
Filter Transmitters
Filter Receivers
Dante Transmitters
AA-4109999999501
Dante Receivers
AA-4109999999501
17@AA-4109999999501 <- 32@AA-4109999999501
P:
Unmanaged Multicast Bandwidth: 0 bps
Event Log:
Clock Status Monitor:

カスタマーサポート情報

Antelope Audio のカスタマーサポートは、以下の方法で受け付けています。

オンライン（日本語対応）

https://jp.antelopeaudio.com/contact-form/にアクセスしてください。

その他のソース

- Antelope Audio の YouTube チャンネルでは、様々なチュートリアルビデオやエンドーサーのコンテンツが公開しております。Getting Started や Advanced Tips & Tricks などのプレイリストもご用意しております。
- Antelope Audio Users Facebook group では、他のユーザーや一部の社員と交流することができます。ただし、このグループはサポートグループというわけではありませんのでご注意ください。サポートのお問い合わせは、カスタマーサポートチームにお願いします。
- カスタマーサポートの Knowledge Base は、トラブルシューティングの情報、よくある質問に対する回答、Antelope のノウハウなど、役立つ情報をこちらでまとめて掲載しております。

所有の Antelope Audio 製品に不具合がある場合どうしたらよいですか？

ご自身で解決できない場合は、ハードウェアに問題があるかどうかを確認させていただきますので、弊社までご連絡ください。その場合、トラブルシューティングを行い、ハードウエア障害があると確認したら、修理の手順をご案内いたします。返品が必要な場合は、RMA 番号を発行し、手続きを開始します。

※Antelope Audio の商品を返品希望の場合、まずはご購入いただいた販売店の返品・返金ポリシーをご確認ください。

RMA 番号とは何ですか？

RMA（Return Merchandise Authorization）番号の発行は、修理手順に必要なものです。
RMA 番号の発行を受けずにデバイスをお送りいただくと、受付されずにデバイスが返送され、修理ができなくなりますのでご注意ください。

RMA 番号はどのように取得するのですか？

Antelope Audio のカスタマーサポートチームが RMA 番号の発行を担当しています。
https://jp.antelopeaudio.com/contact-form/ にアクセスし、連絡を取ってください。

RMA 番号を発行するためには、電話番号、住所先、フルネームなどの個人情報が必要となりますので、ご了承ください。

RMA 発送に関する情報

RMA 番号が発行された後、箱や伝票に RMA 番号をご記入ください。

可能であれば、オリジナルの箱を使用してください。使い古された箱では、国内の修理センターに届くまでに製品を十分に保護できない可能性があります。衝撃、振動、様々な裂け目や傷から守るために、ユニットと箱の壁の間に何層ものクッション材を追加しください。

該当デバイスが修理センターに届きましたら、診断を行い、修理にかかる費用とその内訳詳細についてメールでお知らせます。（保証期間内の場合、発送料金のみかかります。）

尚、修理は、修理費用に同意していただいたのちに開始いたします。同意いただけなければ修理を行うことは致しません。ただし、その場合であっても、診断にかかる費用はご負担いただくことになりますので、予めご了承ください。

すべての発送書類に、Antelope Audio のテクニカルサポートから発行された RMA 番号を忘れずに記入してください。

修理センターへの配送途中での紛失や破損など、未配送のパッケージについては責任を負いかねますのでご了承ください。損害賠償請求については、選択した配送業者へお問い合わせください。

Antelope Audio は、梱包不良による製品破損の修理費用については一切負担いたしません。

限定保証規定

本保証は Antelope Audio のハードウェア製品(以下、「製品」)を Antelope Audio の正規販売店から購入されたお客様に対して提供される、譲渡不可な任意の制限付き製品保証です。

購入国または居住国の消費者保護法が適用されるお客様にとって、Antelope Audio の限定保証によって与えられる利益は、そのような消費者保護法よって招集される権利および救済措置に代わるものではなく、消費者法によって生じる購入者の権利を除外、制限、または停止するものではありません。

消費者は Antelope Audio 限定保証に基づくサービスを請求するか、消費者法上の権利に基づくサービスを請求するかを選択する権利を有します。

Antelope Audio 限定保証に基づいて行われる全ての請求は、この保証書に記載されている条件に準拠するものとします。

保証範囲

Antelope Audio は、お客様が Antelope Audio の正規販売店から本製品を購入された日から 1 年間（保証期間）、Antelope Audio 発行の製品説明書に従った通常使用時における本製品の材質および製造上の瑕疵に対し保証します。

適用される地域の法律で明確に禁止されている場合を除き、この保証は最初の購入者に限定され、譲渡することはできません。この保証はお客様に特定の法的権利を付与するものであり、お客様は地域の法律によって異なるその他の権利を有する場合があります。

一般的にこの保証は、Antelope Audio のハードウェア製品が保証期間中、公表された技術仕様に基づき、データシートで指定されたとおりに意図された動作環境下で動作することを意味します。

このバージョンの保証は 2018 年 1 月 1 日以降に購入された製品に適用されます。それ以前のバージョンの Antelope Audio 限定保証については、カスタマーサービスにお問い合わせください。

限定工場再生品(B ストック)保証

Antelope Audio は「B-ストック、工場再生品、またはオープンボックス品」として販売された製品について、材質の欠陥(製品説明に別途記載がある場合を除く)および製造上の欠陥がないことを保証します。正規販売店または Antelope Audio から直接購入された製品のみが本保証の対象となります。

限定工場再生品(B ストック)の保証は、地域の規制がない場合に限り、製品の購入日から 6 ヶ月間有効です。

ここに記載されているすべての保証条件は、特に明記されていない限り、B-ストック保証にも適用されます。

救済措置

Antelope Audio 製品が、その公表された技術仕様に沿って動作しない場合の Antelope Audio の全責任とお客様の唯一の救済方法は、Antelope Audio はその自由裁量により以下を実行します。

- Antelope Audio の費用負担で、正常に動作する新品または新品同様の再生部品を用いて製品を修理する。
- Antelope Audio の費用負担で、製品を新品または新品同様の再生部品を使用した同等の機能を持つ製品と交換する。
- お支払い金額を返金する。Antelope Audio が支払済みの代金を返金することを決定した場合、Antelope Audio は保証期間満了後 14 日以内に (i) Antelope Audio が不適合の書面による通知を受け取り、(ii) Antelope Audio の書面による承認後、お客様が不適合製品を指定の場所に返却し、(iii) Antelope Audio が製品は不適合であり、その不適合が以下に指定される除外事項の結果ではないと判断した場合、支払済みの製品の代金から製品に生じた損害を差し引くことが

できます。

これらの保証義務は、ハードウェアが購入時の領収書を添付して、購入場所または Antelope Audio が指定する場所に返却されることを条件とします。製品を返送する際の送料および手数料はお客様負担となります。製品の返品に関して、その他の適用される関税、関税、税金、その他の手数料を支払う必要がある場合があります。

修理または交換された製品は、当初の保証期間の残りの期間、保証されるものとします。

生産・販売終了した製品

生産終了または生産終了になった製品は、修理可能であれば修理、もしくは同一製品との交換が可能な場合は交換します。Antelope Audio がお客様の販売終了または生産終了の製品を同じ製品と交換できない場合は、Antelope Audio は独自の判断により、生産終了品または販売終了品を同様の機能と能力を持つ製品と交換します。

保証対象外事項

本保証は、次のいずれかに起因する問題または損害を補償するものではありません。

(i) 通常の使用に伴う摩耗や損傷。(ii) いかなる改造、乱用、事故、分解、誤用、誤使用、過失、天災、事故。(iii) Antelope Audio または Antelope Audio が保証作業を行う権限を与えた者以外による不正な修理、またはその試みがみられた場合。(iv) 不適切な操作、メンテナンス、設置(付属の製品説明書に従わない使用を含む) 。(v) 不適切な電圧供給への接続。 (vi) Antelope Audio が提供していない消耗品やスペアパーツの使用(該当地域の法律で禁止されている場合を除く)。(vii) 製品の素材や製造上の欠陥に関係しないその他の原因。

本保証は、誤用、不注意、事故、改造が行われた製品、あるいは通常のテスト条件下でテストできないようなはんだ付けや改造が行われた製品には適用されません。

(i) 偽造品、すなわち、Antelope Audio またはその認定製造パートナーによって製造されていないと Antelope Audio が独自の裁量で判断した製品、(ii) Antelope Audio の認定ディーラーまたは再販業者ではない個人または組織から購入した製品、(iii) 現地の法律で認められている範囲内で、「現状のまま」または「すべての欠陥を含む」状態で販売された製品は本保証が適用されません。

この保証は製造者ラベル、シリアル番号、日付スタンプ、保証ステッカーが製品から変更または除去された場合には無効となります。

責任制限

Antelope Audio は損害の可能性について事前に知らされていたとしても、利益、収益、データの損失 (直接的、間接的を問わず)、またはお客様の製品に対する明示的または黙示的な保証の不履行による商業的損失を含む、特別、付随的、間接的、または派生的な損害に対して一切の責任を負いません。地域の法律によっては、特別損害、間接損害、付随的損害、または派生損害の除外または制限を認めていない場合がありますので、この制限または除外がお客様の管轄区域で適用されない場合があります。Antelope Audio はその製品に関連するその他の責任を負わず、また他者にその責任を負わせることもありません。

データ復旧

Antelope Audio のストレージデバイスを使用してデータを損失した場合、Antelope Audio は損失したデータのバックアップやリカバリーの責任を負いません。

その他の保証について

Antelope Audio の従業員、販売店、再販業者、その他の代理人には、この保証にいかなる変更、延長、追加を行う権限はありません。

保証請求の方法

有効な保証請求は、ご購入いただいた販売店を通じて手続きを行ってください。また、製品を購入された販売店に直接返品規定をご確認ください。購入先で処理できない保証請求については、Antelope Audio に直接ご連絡ください。弊社のカスタマーサービスの連絡先は、Web サイトまたは製品に同梱されているマニュアルに記載されています。

製品の返品について

Antelope Audio 製品を修理または交換のために返品する必要がある場合には、Antelope Audio から返品承認番号(RMA#)と返品方法をお知らせします。Antelope Audio の事前の承認なしに製品を返品しないでください。有効な RMA#を持たずに返品された製品は拒否され、送り主様の費用負担で送り主様に返送されます。受領時のトラブルを避けるため、RMA#をパッケージの外側にはっきりと記入し、RMA 確認メールのコピーをパッケージ内に同封してください。

保証期間中の製品については、お客様の国内に在庫がある場合に限り、（弊社の判断により）一時的な代替品を提供する場合があります。一時的な交換ユニットを要求するには、Antelope Audio が欠陥品を受け取る前に、新しい交換ユニットの発送を確保するため、有効なクレジットカードを提供していただく必要があります。

返品承認番号(RMA#)のリクエスト

以下の手順で RMA ナンバーを取得してください。

(I) エンドユーザーのお客様は、support.antelopeaudio.com からオンラインで RMA をご請求ください。企業間取引(B2B)/Antelope Audio の直接取引のお客様は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
techsupport@antelopeaudio.com

(ii) RMA 処理には有効な購入証明書が必要になります(レシート、請求書など)。Antelope Audio は RMA 請求提出日から 2 営業日以内に RMA 番号をお知らせいたします。

RMA 返送先住所

弊社は世界各地に複数の RMA 受領拠点を有しています。RMA 確認書には、お客様が RMA パッケージを送付する際に使用する特定の返送先住所が明記されています。未承認の場所に送られたパッケージは、受け取りを拒否され、送り主様の費用負担にて送り主様に返送される場合がございます。

輸送中の製品の紛失または破損

返品のための梱包には購入時に使用されていた梱包材を使用してください。元の梱包材が入手できない場合は、製品を同等以上に保護できるような素材を使用してください。外部に損傷がある場合、または梱包が不十分な状態で到着した荷物はすべて受け取りを拒否され、送り主様の費用負担にて送り主様に返送させていただきます。弊社は RMA 受領場所への配送中に発生した損害や、製品の紛失・盗難については責任を負いません。

会社情報

Antelope Audio はブルガリア共和国の法律に基づいて登録された会社 Elektrosfera ltd.(UIN: 131052590)が事業を行っている商号であり、世界的に知られています。この文書の中で Antelope Audio という商号が使用されている場合は、Elektrosfera ltd.を指すものとし、住所は以下の通りです。

運営住所:Tsarigradsko Shose Blvd., 7 km, Building of BIC IZOT, floor 6, Mladost region, Sofia, Bulgaria.

本書のいずれかの条項が違法または執行不能であると判断された場合、その条項は本保証からは切り離され、残りの条項の合法性または執行能力には影響が及ばないものとします。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

AD Line Input:

Input Connection:	8 x D-sub 25-pin (Tascam Standard)
I/O Channel Count	64 Mono Channels
Input level trim	14 dBu to 22 dBu in steps of 1 dB
Dynamic Range	121 dB
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM
THD+N (A)	-112 dB
Impedance Load	11.2 kOhms

DA Line Output:

Output Connection:	8 x D-sub 25-pin (Tascam Standard)
I/O Channel Count	64 Channels
Output level	-inf to 22dBu // 1 dB step
Dynamic Range	128 dB
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM
THD+N (A)	-115 dB

Impedance Load	11.2 kOhms

DA Monitor output:

Output Connection:	2 x 1/4” 6.35 mm Jack (3 pin)
Chanel Count	2 Mono Channels
Output level	-inf to 22dBu // 1 dB step
Dynamic Range	130 dB
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM
THD+N (A)	-115 dB
Impedance Load	11.2 kOhms

Digital Interface – Thunderbolt:

Interface Connection:	2 x Thunderbolt 3 (Type-C) Ports, I/O
I/O Channel Count	64 Channels (per port)
Daisy-chain	Supported
Remote Control	Supported (over USB Type-C)
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM
Control Panel Support	Yes

Digital Interface - Dante:

Interface Connection:	2 x RJ-45 Ports, I/O
I/O Channel Count	64 Channels @44.1/48.0 kHz 32 Channels @88.2/96.0 kHz 16 Channels @176.0/192.0 kHz
Connectivity	1x Primary Port 1x Secondary Port (For redundancy only)
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

Digital Interface - HDX:

Interface Connection:	4 x HDX Ports, I/O
I/O Channel Count	128 Channels (32 Per Port)
Primary/Secondary ports	4 Primary
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM
Delay Compensation	Supported
Manual Delay Compensation	Supported (up to 128 samples)
Session I/O Support	Yes (16x16)

Digital Interface - MADI:

Interface Connection:	2 x Optical SC Connectors
MADI Mode	Dual Wire, Optical
SMUX	Supported
MADI Protocol	AES10-2003
I/O Channel Count	64 Channels @44.1/48.0 kHz
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

Digital Interface - S/PDIF:

Interface Connection:	2 x RCA Connectors
SPDIF SRC	Supported
I/O Channel Count	2 channels
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

Digital Interface - AES/EBU:

Interface Connection:	2 x XLR Connectors
AES Mode	AES/EBU
I/O Channel Count	2 channels
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM

Clocking System:

Clocking Technology	4th Generation Acoustically Focused Clocking 64-Bit Jitter Management DDS
Word Clock Input	1 x Input @ 75 Ohms 3Vpp on BNC
Word Clock Output	6 x Output @ 75 Ohms 3Vpp on BNC
Loop-Sync Input	1 x Input @ 75 Ohms 3Vpp on BNC
Loop-Sync Output	1 x Output @ 75 Ohms 3Vpp on BNC
10M Atomic Reference Input	1 x Input @ 75 Ohms 1Vpp on BNC
Clock Stability Clock Aging Clock Calibration	<+/-0.02 ppm. < 1 ppm per year <+/-0.001 ppm
Supported sample rates	44.1 kHz—192 kHz, 24-bit PCM